

～地域と育てる未来の力～
竹園東中学校PTAだより
 平成 29 年度第8号 追補版

平成 30 年 3 月 19 日
 つくば竹園学園竹園東中学校
 P T A 本部役員会

P T A 公式 mail
info@takechu-pta.org
 P T A ホームページ
<http://takechu-pta.org>

第 2 回 P T A アンケートの意見に対する回答

平成 29 年度竹園東中学校 P T A 会長 矢野幸子

いつも P T A 活動へのご理解とご協力ありがとうございます。
 平成 29 年度第 2 回アンケートのご意見に関連して委員会活動、ボランティア等についての回答と、今年度行った検討結果をお知らせします。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ご意見、お問い合わせは info@takechu-pta.org までお願いします。

【1】第 2 回アンケートの意見概要と回答

第 2 回アンケート結果概要はお知らせしたとおりですが、今回はご意見に関する回答をお知らせします (計 97 件)

- ・「現行の P T A 活動に対するご意見」33 件
- ・「自由意見や、ほかに実施してみたい P T A 行事のアイデア」27 件
- ・「その他 P T A 活動に関するご意見」37 件

1、アンケート意見分類別の回答

表 1 とグラフ 1 に意見の分類と人数、割合をまとめました。
 回答については表 2 をご覧ください。

表 1 意見の分類	人	%
1、好意的な意見	9	9.3
2、委員会活動の再考	15	15.5
3、奉仕作業について(賛成 10、反対 2)	12	12.4
4、ボランティア全般	5	5.2
5、新活動給食試食、部活動交流会(賛成 12、懸念 9)	20	20.6
6、活動縮小	10	10.3
7、一子一役反対	9	9.3
8、不公平感、負担感	6	6.2
9、その他	11	11.3
合計	97	

ご意見の約半数が不満・改善点についてでした。よりいっそう気持ちよく活動できるよう、今後の活動の改善策にご協力ください。ぜひ一緒に考えてみませんか。再来年度本部役員に立候補、活動改善ボランティアなどご提案をお願いいたします。

【特記事項】 必要性を認識しておりますが、数年がかりの検討になることが予想されます。

- ① 8、不公平感、負担感：委員にならない代わりに会費の増額を課している P T A や自治会もあるようです。周辺調査をし、どのようにすれば導入できるかを検討するにも労力がかかりますし、変えていくという態度にも会員の皆様の応援が必要です。
- ② その他 8、参加申し込み：現在も任意参加ですが、入会申込については検討の必要があると認識しています。
- ③ その他 9、賛助会員制度：良いアイデアだと思います。地域の区長さんなどとの連携も具体的に考えつつ、どのように実現するか、検討の必要があると認識しています。

グラフ 1 意見の分類(n=97)

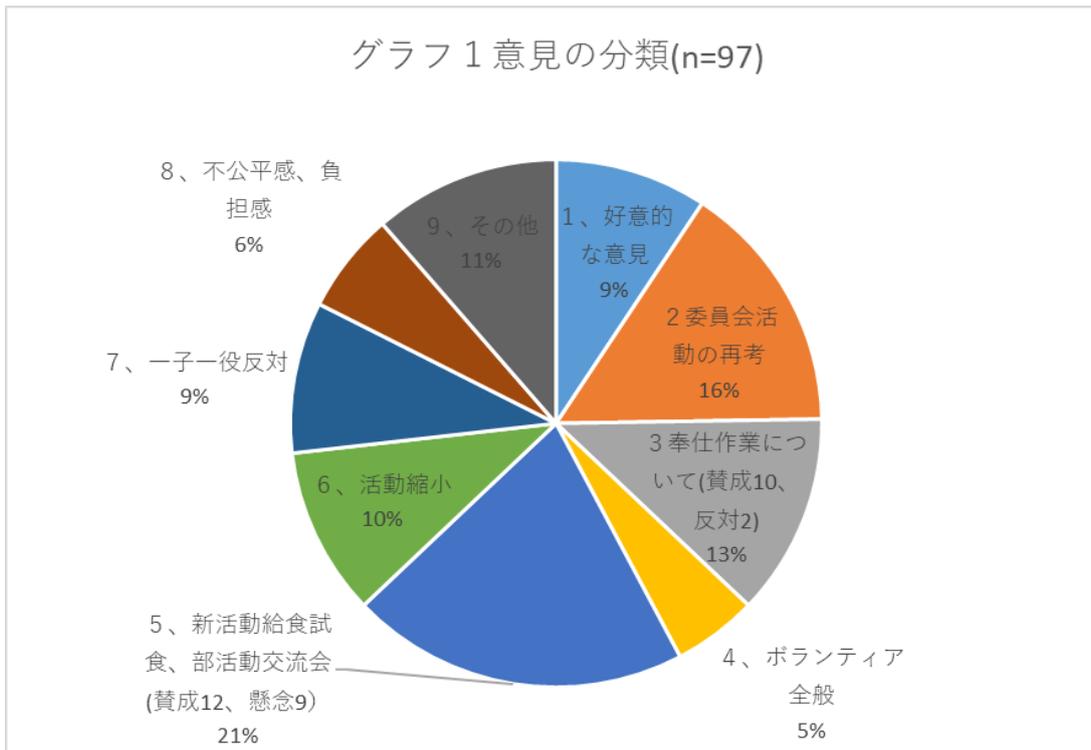


表 2 の回答に加えて、過去の回答もご覧ください。

平成 29 年度 PTA 便り第 4 号

<http://takechu-pta.org/wp-content/uploads/2017/09/pta-news-201704.pdf>

平成 28 年度 PTA 便り第 3 号

<http://takechu-pta.org/wp-content/uploads/2016/07/pta-news-201603.pdf>

平成 28 年度 PTA 便り第 4 号

<http://takechu-pta.org/wp-content/uploads/2016/07/pta-news-201604.pdf>

平成 28 年度 PTA 便り第 5 号追補版

http://takechu-pta.org/wp-content/uploads/2016/11/pta-news-201605_2.pdf

【 2 】委員会及び広報誌について H29 検討内容まとめ

現状の委員会活動は、最低限必須な活動になっており、委員を経験する平等性の観点からも、人数も、活動も減らせるものは出てこなかった。今年は、予算規模も大きく、負担感から立候補が少ない広報委員会について検討を行った。広報誌を作るために広報委員が特に取材に大きな負担を感じていることが分かった。広報委員会は今年度検討内容を来年度に引き継ぎ、取材対象を委員会中心に変えることも含めて、取材への負担を減らすことを検討する。予算は現状維持とする。広報委員会と HP 委員会の融合など、大きな変更まで視野に入れて、問題点をあぶり出していく作業が必要になる。

1、委員会活動と人数について（第 4 回実行委員会 8/19）

- ・学年委員会：現在の各クラス 2 名という現在の人数は必要である。クラス懇談会の司会などやらなくてもいいのであれば人数を減らすことは可能である。
- ・広報委員会：広報委員は取材を行うので、現在の人数は必要である。
- ・保健校外委員会：行事時の巡回があるので現在の人数は必要。
- ・研修委員会：活動内容から考えると現在の人数（15 人）は多いとは思いますが、委員の人数を減らすと委員になる人の数が減り、委員をせずに卒業する人も増えてしまうので好ましくない。
- ・家庭教育委員会：今の人数が必要。
- ・女性ネットワーク委員会：委員長以下それぞれの担当を決めており、年 3 回ある講演会に 2～3 名ずつで分担して参加しており、会場が遠い講演会などもあるので現在の人数が必要。
- ・研修委員会→人数は多いとは思う。

2、広報委員会の作業内容検討について

平成 29 年度竹園東中学校実行委員会、アンケート結果から、広報誌は年 2 回と考えている方が多いことが分かった。印刷費の削減を第一に考えると印刷を 1 回に減らすことがありえるが、作業自体なくしてしまうのか、ウェブに載せるのか、レイアウトは誰がやるのか、またほかの委員会との作業バランスも考慮する必要があることも明らかになり、29 年度内に作業変更確定に至ることができなかった。

(1) 広報誌の発行回数について

現在の予算から見直しを行えるものを探し、現在年 2 回発行している広報誌に着目した。現在の広報委員の予算 33 万円のほとんどを印刷費が占めているため、年 1 回だけ印刷して、2 回目はウェブ掲載にすることも可能か検討したところ、発行する広報誌の 1 回をウェブ掲載にしても負担は減らないとのことであった。

ホームページ (HP) 委員会の視点からは、ウェブにて掲載することは可能ではあるが、現在の広報誌がレイアウトまで印刷会社に依頼しているため、ウェブ掲載の際にはレイアウトを HP 委員で行うことになると、かなりの負担となることが指摘された。また掲載されている内容について、ウェブ掲載となると学校関係者以外の誰でも見られるようになるため、紙面配付時以上に配慮が必要となる（個人が特定される可能性など）。

(2) 広報誌の内容について

現在の広報誌は学校の 3 大行事を中心に取材をしている。また取材対象は前年度委員会から引き継がれたものである。読者である保護者は自分たちの子供の学校生活に一番興味を持っているということを表している。本来、内容や取材対象は委員会の自由度があり、委員に任されている。年度初めに検討してもいい。

記事アイデアとして、第 1 回目広報の内容については先生の紹介などもあるので特に興味があり紙で発行する意味が大きい。また委員会紹介ページは選出の際にも参考になる。

広報誌として誰に何を伝えるためのものかをはっきりすべきである。PTA 活動である奉仕活動の様子は広報誌には載っていない。本来は PTA 会費がどのように使われているかを伝えるなど PTA の活動を伝えることに着目することも重要である。これらのことを来年度に引き継ぎ、検討を継続する。

(3) 定数について

広報委員会内で話し合ったところ、今の委員全員が広報誌を 1 回にすることに賛成している。理由は各行事の取材担当になると一日その行事についていなければならないほか、写真の選定など作業量の多さから現在の委員会活動に大変さを感じているためである。

広報誌の発行を年 1 回の夏前に発行し、その内容も行事ではなく先生の紹介や PTA の各委員会の紹介などにすると作業の簡略化でき、また PTA の活動内容を知ってもらえることになるのではないかと、また、その際は委員の数は今の半分で良いのではないかとということである。

第 1 回のアンケートを見ると広報誌の発行をそのまま年 2 回が良いという結果も出ている。

これに対して、他の委員会から、現在ほどの委員会も抽選にて委員を決めていることが多く、選出が大変だからという理由で委員の数を減らすとか、広報誌の発行回数を減らすのは抵抗があるとの意見が出た。修学旅行やスキー体験など広報誌でのみ様子を見られる行事もあり、それがなくなるのは残念だという意見もある。作業量が多く負担が多いというのであるなら、委員の数を増やすことを検討することも必要ではないか。

広報誌の発行を 1 回で夏前に終わらせるとなるとその後何もすることがなくなるので、各委員会の間作業バランス的に不公平感が出てくる。これから生徒数が増えることが予想される中、委員の数を減らすと委員をやらないまま卒業する方が増えることになる。広報誌については先生の紹介やクラスの紹介などを楽しみにしているので、1 回はこれまでと同じものであと 1 回は簡略したものでもいい。3 大行事については写真販売もしているので広報誌には載せなくてもいいのではないかと意見もあった (12/16 第 6 回実行委員会)。

(4) 広報誌の印刷費について

広報誌印刷費について現在の印刷業者のほかに 2 社から見積もりをとった。現在と同じような条件での見積もりは現状約 16 万円、A 社 約 16 万円、B 社 約 13 万円となり、印刷会社を変えたからと言って除草作業の外注費用が賄えることはないことが分かった。

また現印刷会社は手書きでの原稿にも対応してもらえるなど細かい条件面で有利である。よって印刷会社を変更する必要はないと考えている。

以上

表2 平成29年度第2回PTAアンケート意見、回答

1、好意的な意見	アンケートの集計、たいへんだと思います。活動しやすいPTAのために色々と考えて下さりありがとうございます。	「まず活動に参加してみる」という姿勢は大変ありがたいです。子供と適度な距離感を持ちながら、心と体が成長する時期を支えていくために、行事に参加し、1回は企画側もやってみることは親の人生においても大きな意味があると思います。一緒に活動よろしく願います。	
1、好意的な意見	いつも有難うございます。		
1、好意的な意見	good ideaだと思う内容が多いです。ぜひ実現へ。		
1、好意的な意見楽しい、達成感	PTA活動は、やったことしか分からない達成感があると思う。また、参加することで、学校の情報が入ってきたり先生方や多くの保護者のつながりが待たりますので、楽しい部分がある。以前、委員長を経験はして、ポイントクリアだが、現在の仕事や生活に余裕が出たら、また、役員を引き受けたい。		
1、好意的な意見都合が合えば参加したい	都合が合えば参加したい		
1好意的な意見	2、(好意的な意見)PTA活動はやってみて初めて・変さや楽しさがわかるものだと思います。なるべく全員が関わる公平な活動になっていくと良いと思います。		
1好意的な意見	13、活動の直しありがとうございます。第1子が入学したところなので「分からない」が多くなりましたが 会員の現状に合ったよいPTA活動になればと思います。		
1好意的な意見	28、感謝しかありません。参加できること(ボランティアサポート)を希望しております。		
1好意的な意見	31、お疲れ様です。参加しないと分からないことが多く、小学校と違い中学校は特に・えてこない部分が多いので、情報を得られる媒体は貴重です。		
2委員会活動の再考	10、研修は、これだけ学校のカリキュラムが過密かつ充実している状況下、なくても良い。家教は、親のための講座の必要性自体が疑問。平日の委員会を設けることの意義の再考と学校や生徒へ貢献度合い、女性ネットの意味再考。P連の行事には本部役員が出れば良い。		学年委員会と研修委員会の統合、女ネット委員会の意義の見直し、広報委員会とホームページ委員会の統合委員会の統合、定数の低減の提案がありました。これらを受けて、実行委員会にて活動の検討を行いました。どの委員会も必要な活動になっており、現状維持という結果になりました。広報委員会については29年度特に特に議論し、別途検討を継続しております。通常の活動を行いながら、委員会構成を変更するのが非常に困難であるため、ドラステックな変更ができませんが、ご意見を来年度に申し送ります。
2委員会活動の再考	22、研修委員会、家庭教育学級委員会、女性ネットワーク委員会は、学校活動に不要と思う。活動する意味が分からない。		
2委員会活動の再考	30、研修委員と家教の講座は目的が異なるため(お金の出どころもちがう)難しいのではないのでしょうか。家教はテーマのしほりもありま。自由に内容を設定できる強みがある研修は、どこかの学年の学年委員の講座と統合しても良いのではないのでしょうか。ネットか女性教育を家教講座とし、自由テーマをひとつ大きく、どこかの学年で開催してはどうでしょうか。		
2委員会活動の再考	7、研修委員会は、教養を・めるための委員会での主な対象者は・徒であり、家庭教育委員会は、家庭の教育力の向上のための保護者の学習会ということで、親の学びが主となるため、安易に統合すべきではない。分かりにくいところではあるが、本部役員が、家庭教育委員会と研修委員会の対象者や目的を充分に把握する必要があるれば、アンケートでの質問を・意する必要はないと考えます。委員会の統合であれば、研修委員会というよりも女性ネットワーク委員会のほうが、家庭教育委員会とやや目的が近い感じがします。		
2委員会活動の再考	16、研修やセミナーなどの行事は減らしても良い。校内や通学路、生活環境での安全確保などをもっとしっかり 行う必要がある。		
2委員会活動の再考	1、研修委員会のイベントへの保護者の参加数が少ないので研修委員会は廃したほうがよいと思う。年1回のイベントに15・の委員は不要。定数削減すべき(研修委員会)。		
2委員会活動の再考	27、基本、同じキボでOK。しかし同じ内容を繰り返すのはどうかと思う。草刈りは、先・のleadがいまいちなので、ムダな動きが多い。値上げしてもよいが、ただし、ムダな費用もチェックすべき(Webにすると広報代金が浮く)値上げ額は、いくらかかるか見積もる方が先なのでは？		
2委員会活動の再考	18、役員任期前期・後期に分けてもよいのでは？期間を短くすれば、応募者も増えると思う。		
2委員会活動の再考	12、全体を縮小することで上記の会費を減らし、草刈りを外注する。		
2委員会活動の再考	23、子供たちのためといいながら、半分は自己満足で行っているものがある様にみえる。奉仕作業は別だが、重複している役割(委員会)もある。子供たちが主役であり、先生たちが師なので、そこを尊重した方が よいと感ずる。		
2委員会活動の再考	19、各委員会の定数について、各委員会10名程度がよいと思うので、広報、保健、研修は各学年4名×3学年。広報委員会とホームページ委員会を統合してはどうかと思っている。学校の様子を発信するという役割が 同じなので。		
2委員会活動の再考	25、必要性の低い活動は積極的に廃止して、削減された活動費で外注するなど。		
2委員会活動の再考	29、自分達でできる範囲を行い、難しい部分は業者に任せるのも手かと思ひます。その際、奉仕活動に参加できなかった人達からのみ500円程度徴収し、外注の費用に当てるといふ法はいいかでしょうか。その方が奉仕作業に参加した人、できなかった人共に納得できるのではないかと思います。		
2委員会活動の再考	9、平・開催の行事は保護者の参加を歓迎しているとは思えない。女性ばかりを教育するような委員会は時代 錯誤、差別的な意図さえ感ずる。子供の時間も足りないくらいなのに、講演ばかり増やすのは逆・していると思う。親も子供も参加しやすい		
2委員会活動の再考	11、現行の活動全てが必要と思ひているのは、本部の・部の人のみではないか。本当に必要なものを取捨選択するべきであり、委員数を減らすことで活動も削減させ、教職員や保護者の負担を減らすべきである。		
3奉仕作業外注反対	14、値上げ自体は反対。草刈りぐらいは皆で協力すれば良い。そんなことに予算を使うことを考える事がばかげてる。		

(次ページに続く)

表2 平成29年度第2回PTAアンケート意見、回答

3奉仕作業外注反対	26、くだらないことに予算を使うことに反対。値上げは反対。草刈りぐらい皆で協力して行えば良い。		
3奉仕作業について	奉仕作業が運動部の生徒に強制されているのは問題だと思います。それこそ、親が総出でやるか、それで人が集まらないなら、PTA負担で業者に外注すべき。		
3奉仕作業について	6、草刈、掃除などは業者に発注した方が良い。親の労力を当てにすべきではない。		
3奉仕作業について	8、草刈り等の奉仕作業は、先生方の負担も減らせず、マダニ等の不安要素も払拭できると思います。作業に慣れた業者に委託されるか、シルバー人材等をお願いしても良いように思います。	奉仕作業に関しては、第2回アンケートの結果、外注に賛成が過半数、記述意見では先生や保護者の負担軽減のためにも外注したほうが良いという意見が10件、外注すべきではないという意見が2件ありました。29年度、除草作業の見積もりを取り、月額100円値上げで2回の奉仕作業を外注する見込みが付いたことから、会費の値上げを第7回実行委員会で決定いたしました。 奉仕する精神の維持と、学ぶ環境を生徒自身が保つ機会が必要、という観点で、学校行事として行う奉仕作業は継続し、保護者も参加することができます。なお、業者外注の除草作業は8月・11月以外にも予算の範囲内で草木の成長が著しい時期に行う可能性があります。	
3奉仕作業について	17、年2回の奉仕作業は、外注に出す事によって、親、先生の負担が少なくなり、また、参加する人と欠席の人との平等感があると思います。		
3奉仕作業について	20、参加者、先生方の負担が大きい時は外注に賛成です。PTA活動に参加したくてもできない方もいると思います。奉仕作業も他の活動と同じように、参加したことでPTA活動に参加と同じようにみなすのはどうでしょうか。奉仕・・・という意味から離れてしまうような気もします。		
3奉仕作業について	5、除草に限らず外注範囲拡大を視野に入れ、会費増と役員削減を検討してはいかがでしょうか。		
3奉仕作業について	33、草がのびすぎて、手におえないときは、外注もしかたないと思います。でも、自分の学校を自分できれいにすることは、基本だと思います。		
3奉仕作業について	24、草刈りは暑い中行われるので、暑さに弱いので参加が困難であるのと、近年マダニなど(ヒアリ)の発生を考えると外注するのが望ましいと思います。業者に外注するといくらかかるのかによって、この金額以上でも良い場合もあります。		
3奉仕作業について	4、奉仕作業に関しては、先生方の負担軽減の為に、業者外注は否かではないが、年に2回の作業は、生徒達にとっても、有意義な時間だと思う。		
3奉仕作業について	32、奉仕作業については、参加できる人、できない人、したくない人によって意見が大きく別れると思います。親の意見だけでなく、生徒や先生方の意見も考慮すべきだと思います。奉仕の精神を養うこと、奉仕活動を行うこと自体が生徒の健全な心身の育成に役立つのでは…と思います。費用だけの問題ではありません。前述のことから考えると、部活動の大会などが無い日に設定することも学校として配慮すべきことだと思います。		
4、ボランティア全般	ボランティアの活動は素晴らしく、続々に賛同するが、PTA活動という強制的に活動するのには、必要最低限にすればいいのでは。本来のPTAというものは、ボランティア的なものを感じる。子供たち、先生、学校のためにお手伝いはしたいが。		29年度にボランティア活動募集要項を作成し、随時募集する体制を整えましたので、ぜひご提案ください。また必要ない活動を無理に進めるものではありません。出前授業など、H26年度から開始されましたが現在維持されていないものもあるようです。希望者が復活させるなど、ぜひよろしく願います。
4、ボランティア全般	現時点で、家庭の都合で率先して参加できないが、ボランティア程度であれば参加したい。そういう制度(ボランティア)を作ってはどうか。		
4、ボランティア全般	あくまでイメージはイメージで、ほんの小さな役でも全員がやるというスタンスだともっと身近に感じられるのでは。		
4、ボランティア全般	役員をするまでもないが、学校に奉仕したいと思っている・ほしいと思う。ハードルの低そうな仕事(緑化活動など)があるとよい。(年2回の奉仕活動がなくなる場合は)		
4、ボランティア全般	負担は大きいですけど、「子どもたちのためにやる」という感じでやってきました。多くの先輩保護者の・々が当たり前のように草刈りに参加し、運動会のテントを設置したり。竹園はそういうところだと思ってました。子どもたちに「自主」や「自学」を求めるなら、大人もその姿を見せたほうが良いのではない かと、活動してきた次第です。		
5、新活動AED講習会	AED: 学校でも・われているので、レベルUP(時間数の多い内容)した内容であれば参加したい 試・会: 学校でも・われているので、他に講演会等とセットになっているのであれば参加したい 部活動交流戦: 化部もあればよい。		
5、新活動AED講習会	AED講習会は年に1度あると思います。		
5、新活動AED講習会	AED講習会はいろいろな所でやっているの。		
5、新活動AED講習会	AEDはすでに小学校で参加している。カードももらっており子供もイベントで参加済。(重複になる) 部活動交流戦はスポーツ(種・)によってはかなり負担。でも友人の親がくると・分の親も出てほしいと・われる(小学校の親子サッカー(FCの行事)でも大変でした・・・)		
5、新活動給食試食	給食: 試食の場所、みなさんイヤでしょうから無理だと思いますが、私は生徒の教室で食べたいですね。部活動 要ケガ保健(大人)。点数やキョリ等ハンディがあっても楽しい。防災キャンプ 今年、県内で子どもと参加したが、見ていて準備は大変そうだと思う。		
5、新活動給食試食	給・説明会は、小学校のPTA行事で企画されることが多いので、必要ないと思います。		
5、新活動給食試食	給食試食は小学校でやっているの、同じではないか。(量が違うくらい?)部活動は、文化部はどうするのか。		
5、新活動給食試食、部活動交流会	給食試食会は小学校で経験している人が多いと思うので、企画しても参加者は少ないと思う。部活動交流戦については文化部所属の者は対象外という感じでどうなのか?		
5、新活動給食試食、部活動交流会	部活動交流戦は保険加入が必要		

表2 平成29年度第2回PTAアンケート意見、回答

5、新活動行事	小学校でやっている行事ならやらなくてもいいと思う。	
5、新活動行事	子供たちが行う行事なら良いと思う。	
5、新活動行事、茶話会	転入者の方の為の茶話会を4・5月頃に行うのはどうでしょうか？	
5、新活動交流会	学年交流会、茶話会。犬か猫ペットとふれ合える命の大切さを感じるような親子行事。	
5、新活動出前授業	主催がPTAなのか学校なのか未確認だが、出前授業について開始当初は、さまざまな知見のある保護者が講師となっていたように思う。近年、「学び」から若干かけ離れたような講座も見受けられるため、精査を期待している。	
5、新活動避難訓練、Jアラート	地震や水害、竜巻、雷などの自然災害や、Jアラートが鳴った時を実際に想定しての避難訓練や対処法を学べる場があればいいなと思います。常総の方では水害を想定して、避難所での過ごし方まで訓練されたように聞きました。	
5、新活動部活動	部活動：運動は苦手だが手伝います。自分は参加できないものもありますが企画としては、いいと思います。	
5、新活動防災キャンプ	防災キャンプは、事前の準備などをしっかりしたうえで、とり組むことで効果が上がる。	
5、新活動防災キャンプ	防災キャンプ親子では思春期、反抗期の子どもとは少し難しいかもしれません。	
5、新活動防災キャンプ	・然災害が多発する昨今、いざとなった時にどのように対処できるかは、頃の訓練がとても、切だと思えます。体育館での夜泊まりの他、吾妻中のように防災キャンプ等行うのも良いのではないかと思います。	
5、新活動防災キャンプ	防災キャンプは生徒達に全員体験させるのがよい。(PTA行事ではなく)	
6、活動縮小	慣例で、っているものは廃しても良いと思う。本当に必要なもの、ことだけに絞るべき。本当に必要なものには有志が集まると思う。PTAを親の社交場とすべきではない。・供が必要とすることをサポートすべきと考えます。	29年度検討した結果では、どの委員会も必要な活動になっており、現状維持という結果になりました。広報委員会については29年度特に特に議論し、別途検討を継続しております。通常の活動を行いながら、委員会構成を変更するのが非常に困難であるため、ドラ
6、活動縮小	9月から後任の人選が始まるなど、組織維持が重要な活動の一つとなっているという点が気になる。また、学校が事務局的な役割を果たさないとPTA活動の継続性を保つのは難しいのではないかと。	スティックな変更ができませんが、ご意見を来年度に申し送ります。
6、活動縮小	必要最低限にすべきだと思う。	
6、活動縮小	行事数を増やすことだけが目的のイベントを増やすのは本末転倒。役に立ちそうなイベントにしても、運営側の負担が大きすぎて、委員のなり手を集めるのに毎年苦勞するようならば、やらない方が良くと思う。	
6、活動縮小	なぜ現行の活動を大きく削減することなく、新しい活動を増やそうとするのか理解不能。また・人・役の名の下に、保護者に強制するのではないか、かなり不安。	
6、活動縮小	PTA役員選出に苦勞する中、はたして有志で行事運営をしてくださる方はいるのでしょうか？無理して仕事を増やすことはないと思います。	
6、活動縮小	親も子も時間に余裕がなく、行事を増やしたり参加したりすることは難しいです。	
6、活動縮小	有意義かどうかを検証し、本当に必要なものをやれば良い。	
6、活動縮小	PTAは色々行事を詰めこまず、もっとシンプルに先生や学校のサポート役に徹して欲しい。保護者が気軽にPTAに参加できるよう事業内容を簡素化すべきでは？	
6、活動縮小、ボランティア推奨	委員会や活動の内容によっては、必要なのか？と感じるものもありますし、負担の格差が大きいと感じるものもあります。また学校側と内容ががぶるような活動(広報など)もあり、なり手が無く、くじ引きで決めなければいけない委員会活動もあると思います。古くからの慣習をなかなか変革できず、なんとなく・変だけど続けてきたという感じがします。その割に子どもたちの・になっているのかと言えば、あまりそうとは思えない気がしています。その点ボランティア活動はとても良く機能しているように思います。多くの保護者が自身の可能な時に参加して、子どもたちを本当に・えていけるような活動が先生方にも保護者にも負担をかけずにいいのではと思います。委員会を削減すれば、草刈りの費用や、本当に必要な学校の備品が購入できるとも思います。	
7、一子一役(小中一貫で)	PTA役員は小中・貫で・子・役の方がいいと思う。小学校でも・子・役をやっていない人がいるのに不公平感を感じる。	以前、公平性の面で委員を増やした経緯があり、小・中それぞれで一子一役となっています。委員会の再考、活動縮小とともに、委員数を減らすことができるのか、継続検討します。昨年度から[委員を引き受けられない理由]は記載しなくていいフォームとしました。
7、一子一役(小中一貫で)	PTA活動は必要不可欠なものだと思いますし、子供がお世話になっている以上、・子・役を基本に運営していくことが最も良い方法と考えますが、・方で全く役を任わずに過ぎしてしまう・部の人達がいることも事実です。不公平感をなくすためにも、・子・役を小・中通してのポイントとして認めていただきたいです。小学校でも中学校でも律儀に・子・役を全うする・がいる方、小中ともに何もしないまま卒業していく方がいるのを見るにつけ、不公平感が・まります。小中・貫校をうたっているのですから、PTAも小中を通して見ていただいてもよいのではないのでしょうか。	
7、一子一役反対	親も忙しいので・子・役の強制的な役員はなくしてほしい。できるときにできる人が手伝うだけで回せる範囲の活動に縮小してほしい。	
7、一子一役反対、強制反対	持病の為に参加できないのですが、1・1役をかなりアピールしてこられるので毎年、役員が決まるまでほとんど精神的にまいってしまっています。役員をやった事がないの名簿表が回ってきた時は推薦された時、持病を理由に本当にことわれるのか・配しています。	

表2 平成29年度第2回PTAアンケート意見、回答

7、一子一役反対、ボランティア活用	現・のPTA活動は時代に合わなくなってきたと感じます。特に・子・役の強制的な制度は、PTA活動に対する心理的なマイナス面も大きいと感じますので、次年度からすぐに廃止した方がよいと思います。できるだけ活動を絞り込んで役員数を削減すれば、十分にボランティアの・だけでやっていけるのではないのでしょうか。例えば公立高校のPTA活動に準じるのも・案かと思えます(通常、公立高校PTAでは活動が絞り込まれていて、・子・役を強制されることはないかと理解しています)。皆さんが喜んで自発的に運営・参加されるPTA活動を目指していただきたいと願っております。例えば、行事ごとにボランティアで運営委員を募ったり(集まらなければ行事を中止)、時間が貴重なご家庭に対しては・定額の寄付をすることにより、PTA活動への貢献として顕彰することも・案かもしれません。	
7、一子一役反対、ボランティアにもポイントを	・子・役とは・つても、やらない方が多いと思います。共働きや核家族化など、それぞれ皆さん事情はおありになるのは十分に承知しておりますが、子供がお世話になる学校に関わることは大事だと思います。色々な事情で参加したくても出来ない方もいるとは思いますが、そうではなく参加して下さらない・が多いとも思います。・子・役というのなら、各ボランティア活動などもポイントとし、何でも良いので何らかの形でPTA活動に参加するべきだと思います。子供達を見守る大事なPTAだと思いますので、もう少し皆さんにご協力いただく体制にしてほしいです。	
7、一子一役反対、強制、女ネット反対	・入学説明会後に、PTA活動について経験やできない理由を書いて提出しないと帰れないシステムになっていて、ものすごく強迫性を感じて嫌だった。・委員会の仕事はやれば充実感はあるが、同学年の親との相性もあり、1年間の精神的負担が大きすぎる。・「女性ネットワーク委員会」の存在の意味が分からない。ジェンダーの問題がこれだけ・われ、そして父親も育児に積極的に関わろうという現代において、組織名に違和感を感じる。最初に「女ネット」の文字を見た時は、女性特有の・間関係の負のイメージを想起させて「気持ち悪っ!」「怖っ!」と思った。なぜこんな閉鎖的な組織が未だに存在するのか。女だけでつむ集団・組織は限界がある。竹東中・校だけの問題ではないので、PTA組織の問題として広く議論して欲しい。・「子・役」を強要するのはおかしい。子供が多いほど子育ての負担は大きくなるのに、PTA活動を断れない雰囲気蔓延している。学校だけでなく、子供会等の地域の組織に属しても「子・役」の言葉がついて回る。いったいどれだけボランティアに身を費やせばいいのか。一人っ子の親の方が身軽だし、社会復帰も容易で家の財産も増やせて……って、これでは少子化になるのも道理である。	
7、一子一役反対	竹園学園は転出入が多いので、他の学校と同じように1人・役を強制するのは困難な側面もあるように思う。2人の子供が幼稚園と小学校にまたがっていた時にpta役員をしたが、幼稚園と学校行事、ptaとこなすために、仕事は夜勤を入れ、夜勤入り、明けの時間を使うしかなく、日々疲れていた。このように、人によっては、役員を引き受けることが困難な状況であることも事実だと思う。	
7、一子一役反対	PTAは任意の団体であり、法定ではない。なぜ・人・役が存在するの疑問、というより、本部の都合のために・人・役があるとしか思えない。来年度の全活動を・一旦停止して、本当に何の活動が必要なのか、本部だけではなく全保護者に考えさせるべきである。その様な中で何か支障が出れば、それは本当に必要な活動であることが、保護者にも伝わるはず。草刈りなどはいい例だと思う。全活動を・一旦・させることは、好き勝手に言ってるわけではなく、時代も環境も大きく変化した中で、今の竹園東中に通う子どもたちにとって、何が必要とされているのか、つくば市PTA連絡協議会といった存在は考えず、竹園東中単独で大きく改革するべきタイミングにきているのではないか。ま、こんな意見もPTA本部に黙殺されているので、それでも現行以上のPTAにしたいというのなら、会費だけは払いますので、……役とか強制とかで・度と動員しないでください。もし何かその様な通知とか連絡がきたら、改めて今度は「抗議」させていただきます。	
8、気が合わない人と活動したくない	気の強いお母さんたちと仕事をする、その方の目立つ行動に振り回されるだけ。先生たちに良いすがただけを気にする場合が多く、本来の意義を見いだせない!	PTA活動は、強制ではありません。しかし実際、会費の70%は学校に使われているうえ、労力に関しても実際の教育環境のサポートという意味でPTAが多大な貢献をしています。
8、参加したくない	仕事と家事のやりくりだけで、時間がいっぱいであり、色々有意義だろうと思ったとしても、参加する余裕がありません。それでも、本当に参加したければ、時間は作れるのでしょけれど、そこまでしたいとは思いません。	負担感が減らせる工夫をということで、29年度からボランティアの提案がしやすくなるように提案様式を整備しました。ぜひご提案ください。
8、不公平感、負担感	小学校中学校合わせて3回、委員・役員を経験したが、良かった点も悪かった点もある。無意味な活動とは思わないが、やらなくてよいなら逃げたいと思ってしまふ。	委員にならない代わりに会費の増額を課しているPTAや自治会もあるようです。周辺調査をし、どのようにすれば導入できるかを検討するにも労力がかかりますし、変えていくという態度にも会員の皆様の応援が必要です。数年がかりの検討になることが予想されます。ご協力をお願いいたします。
8、不公平感、負担感	真面目な人が活動に関り、関わらずに免れる方も多くいらして不公平があるように思います。	
8、不公平感、負担感	7学年だけなぜ副委員・が・人いるのか?2人いるならポイントは1ポイントにするべき。他の学年の副委員・との不公平感がある。選出委員会はそれぞれの委員の活動もあるため負担が大きく2ポイントにならないのか?	
8、不公平感、負担感	実際は「1, 3, 4」と感じています「5」と思う気持ちもよくわかります、という意味の回答です。時間的・心理的負担は大きいと思います。	
8、不公平感、負担感	私は、PTAの活動に肯定的ではありますが、やはり負担はそれなりにあると感じています。そこで、関わりたくない、負担を減らしたいと考える会員に負担免除のための追加の会費を納めてもらい、増えた予算での外注&負担可能な会員のボランティアで運営してはどうでしょうか。首都圏のタワーマンションの・治会でこのような運営が採用されているところが増えてます。もちろん負担免除希望会員が会員数の半数以下に留まるような施策とすることが前提ですが、ご参考まで。	
その他、分からない	あまりにも今まで参加をしてこなかったため、実際のところ参加の仕方もわからない状態です。申し訳なく思っています。	ぜひ参加をお願いします。
その他、分からない	PTA活動を未だしたことがないので「分からない」の回答が多くすみません。来年度は参加してみたいと思います。	ぜひ参加をお願いします。

表2 平成29年度第2回PTAアンケート意見、回答

その他1、緊急メール	21、緊急メールで送ってこなくていいメールは、緊急で送ってほしくない。・供に何かあったのかと心配になる。	不審者情報や休校や登校時間の変更の連絡の他、PTAだよりの発行のお知らせもお送りしています。PTAだよりの印刷をやめ、ウェブでの掲載としたための周知の利用です。PTA専用メールの使用も検討しましたが、料金や管理者等の課題があり、継続となっております。
その他2、行事予定表	3、さわやかマナーアップキャンペーンの予定を、年間予定表に組み込んでもらえるとう参加しやすい。(先生に伝える)	先生へ提案いたします。
その他3、名札について	15、首からかけるタイプの名札が使えるとよい。(小学校のものがひきつづき使えるようにしてほしい)	竹園東小、竹園西小PTA会長と協議し、ストラップ型名札を継続して利用することになりました。新8年生、9年生は移行期間で安全ピン型の名札を使用します。
その他4、アンケート設問順検討	アンケートの問の順番が良くない。経験がある・への問は、問1の次にあるべき。もしくは[経験がある方へ]を[役員 委員の経験がある方へ]にすべき。分かりづらかったです。	今後のアンケートで注意いたします。
その他5、いじめ対策	いじめに関して、保護者も活動をして良いと思う。	ぜひご提案ください。
その他6、学校に意見する	有意義なものにするために目的を明確にし、評価をすべきと思います。学校にものを申す組織であってもよいと思います。	ぜひご提案ください。
その他7、予定早めに	予定が早くわかるのであれば参加しやすいと思った。	PTAだよりのでもお伝えしておりますのでご覧ください。
その他8、参加申し込み	現状の活動をみると、PTAの存在自体不要と思われる。任意団体なのであれば、加入会員を募って、組織するのがスジです。教職員の加入、会費負担も強制色が強く、民主的団体の体(てい)をなしていません。	現在も任意参加ですが、入会申込については検討の必要があると認識しています。一緒に検討をお願いできませんでしょうか？
その他9、賛助会員制度	賛助会員制度があれば大いに活用したいと考えますが、そのような検討は今まで無かったのでしょうか？	良いアイデアだと思います。一緒に検討をお願いできませんでしょうか？